

教員名	内藤 俊史 (NAITO Takashi)
所 属	人間文化研究科人間発達科学専攻発達臨床論講座
学 位	博士 (教育学) (1998 慶応義塾大学)
職 名	教授
URL / E-mail	http://members.aol.com/naitot/morality.htm / naitot@aol.com

◆研究キーワード

道徳性の発達 / 東南アジア / 感謝心 / 自然環境

◆研究内容

自然に対する感謝感情の要因と関連変数について、日本とタイとの比較を通して検討している。本年度は、自然への感情と環境保護態度との関連を日本の大学生を対象として調査した。その結果、感謝に含まれる「すまない」という感情が環境保護尺度における保護への意志という下位項目と関連し、「ありがたい」という感情は、自然の受容という下位項目と関連していた。感謝に含まれる感情は、それぞれ異なった機能をもつことが示唆される。

◆教育内容

学部では、教育心理が関連の概論、演習を担当し、大学院では、道徳性に関する授業を担当した。学部の演習では、思いやりをテーマとしつつ、コメントの作り方にも焦点を当てた。

◆Research Pursuits

I have engaged in collaborative research on gratitude with researchers in Thailand. Our first study was conducted in 2006 to investigate the relation between gratitude to nature and environmental attitude. The results suggested that thankfulness and feelings of sorry had differential relation to subscales of the environmental attitude.

◆共同研究例

感謝心に関する研究

◆共同研究可能テーマ

・感謝心に関する研究

◆将来の研究計画・研究の展望

道徳的感情、なかでも感謝心について、その発達の様相を、アジア諸国との比較研究と観察や実験研究を組み合わせることにより、明らかにする。

◆受験生等へのメッセージ

心理学のテーマは、私たちの日常のなかにも多く見出すことができます。大学は、それをより確かな方法で探究する場です。心理学にはいろいろな方法があります。問題意識を大切にしつつ、方法を学んでいく意欲を持ち続けてください。